パンを創りたい！

若い世代のチャンスを活かし夢を育む

森の石窯パン屋さん　内藤 都子さん・東 優里さん

「森の石窯パン屋さん」で働くまでの経緯は？

内藤さん　元々、食べ物や作ることに興味があり、東京の大学では農学を専攻。人の手をかけ、ゆったりした時間を提供することに魅力を感じ、卒業後は福島県と栃木県のカフェで働いていました。地元に戻り、「森の石窯パン屋さん」がオープンすることを知りました。未経験でも、一流のパン職人である岩本進さんの下で、一からパン作りを学べる。私の中の「食」や「人の手で作ること」への希望を満たすチャンスだと思いました。

東さん　私はパン作りの専門学校を卒業したばかりで、初めての就職なんです。就職活動をするに当り、実家が千葉県なので、近郊で探していたのですが、人が多くてせわしい所は避けました。「森の石窯パン屋さん」の求人を見つけ、昔家族で陶芸体験に行った笠間を思い出したんです。緑が多くて綺麗な所という印象が残っていて、ここで働きたい！と、迷わずに決めました（笑）

笠間で暮らして思ったこと

内藤さん　自然が多くて、のんびりしている。観光地ならではの良さもあって、平日は常連さんが多く、休日は観光客も来て、色んな人と触れ合えます。何かのきっかけで、どこに住もうか考えることがあると思いますが、住んでみて、その場所の良さが分かると思うんです。私はいつも「ここに住んでいて良かった」と、満足しています。

東さん　私はまだ笠間に住み始めたばかりですが、笠間って「おしゃれ」だと思います。素朴だけど洗練されていて、観光地だからかもしれませんね。これから市内の色んな場所を知りたくて、楽しみにしているんです。

これからの目標は？

内藤さん　自分のお店を持つことです！ここでもっと学んで、お客さんも自分も居心地の良い、そんな場所を創りたいですね。

東さん　私はまず、この街に馴染むこと。不安も多いですが、笠間の人は皆優しい。これからの生活を、楽しんで頑張れそうです！

おすすめスポット

ギャラリー＆カフェ巡り

お気に入りが見つかります♪

笠間は笠間焼で有名な観光地でもあるので、素敵なギャラリーやお店など、リフレッシュできる場所がたくさんあるんです！

撮影協力：cafe R hana...

PROFILE

[右] 内藤 都子（ないとう みやこ）さん　36歳

日立市出身。移住歴は2年。東京の大学を卒業後、福島県、栃木県のカフェで働き、現在「森の石窯パン屋さん」で製造に携わっている。

[左] 東 優里（あずま ゆうり）さん　19歳

千葉県出身。パン作りの専門学校を卒業後、笠間に来て1ヵ月。「森の石窯パン屋さん」で製造、接客に携わりながら、日々勉強中。

石窯で焼くパンは、外はパリッと中はもっちり